

DOCUMENT 1/1
DOCUMENT NUMBER
@: unavailable

DETAIL

JAPANESE

LEGAL
STATUS

1. JP.2002-298015.A

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-298015

(43)Date of publication of application : 11.10.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G09F 19/00(21)Application number : 2001-
102325(71)Applicant : DIGITAL ADVERTISING
CONSORTIUM INC

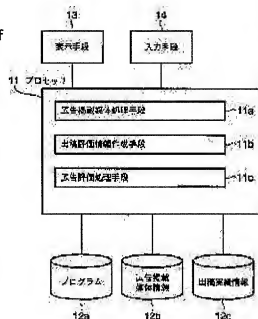
(22)Date of filing : 30.03.2001

(72)Inventor : YAJIMA KOKI
YAMAZAKI SHUJI(54) ADVERTISEMENT EVALUATION SYSTEM, ADVERTISEMENT
EVALUATION METHOD, AND ADVERTISEMENT EVALUATION PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To
evaluate the prediction achievement of
advertisement.

SOLUTION: This system comprises a
storing means 12b which stores site
identification information, a site
category, and the advertising
conditions for every WEB page, which
are included in this site with all of
them associated with each other, a
storing means 12c which stores the
actual advertising information which
shows the information on the
advertisement actually carried in the
past, the actual WEB page information
which shows the WEB page in which
the advertisement has been carried,
and the advertising achievement value
which shows the achievement of the
advertisement with all of them associated
with each other as the achievement
of a delivery of the manuscript, an advertisement carrying medium processing
means 11a which reads out and outputs the advertising conditions stored in
the storage means 12b for urging the persons who wish to carry
advertisement to select the advertising conditions for the advertisement to be
carried, an advertising evaluation processing means 11b which reads out the
delivery of the manuscript achievement, to which the achievement advertising
information conforming to the selected advertising conditions is made to
correspond, from storage means 12c, and computes a prediction achievement
value based on the advertising achievement value included in the delivery of
the manuscript achievement, and a display means 13 to display a prediction
achievement value.



BACK NEXT

MENU SEARCH

HELP

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-298015

(P2002-298015A)

(43) 公開日 平成14年10月11日 (2002. 10. 11)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-コ-ド ⁷ (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6
	1 5 0		1 5 0
	1 7 0		1 7 0 A
	5 0 4		5 0 4
G 0 9 F 19/00		G 0 9 F 19/00	Z
		審査請求 有	請求項の数 5 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-102325(P2001-102325)

(22) 出願日 平成13年3月30日 (2001.3.30)

(71) 出願人 500453821

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
 東京都渋谷区東三丁目16-3 エフ・ニッセイ東比寿ビル6階

(72) 発明者 矢嶋 弘毅

東京都渋谷区東三丁目16番3号 エフ・ニッセイ東比寿ビル6階 デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社内

(74) 代理人 100058479

弁理士 錦江 武彦 (外5名)

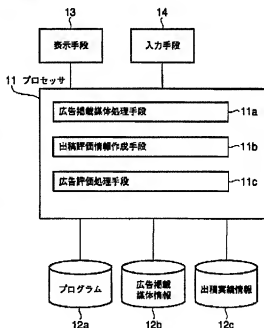
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 広告評価システム、広告評価方法及び広告評価プログラム

(57) 【要約】

【課題】 広告の予測実績を評価する。

【解決手段】 サイト識別情報と、サイトカテゴリーと、このサイトに含まれるWEBページ毎の広告条件とを関連づけて格納する記憶手段12bと、実際に過去に掲載された広告の情報を示す実績広告情報と、その広告に掲載したWEBページを示す実績WEBページ情報と、その広告の実績を示す広告実績値とを関連づけて出稿実績として格納する記憶手段12cと、記憶手段12bに格納された広告条件を読み出して出力し、広告掲載希望者に、掲載を希望する広告条件の選択を促す広告掲載媒体処理手段11aと、選択された広告条件に合致した実績広告情報に対応付けられた出稿実績を記憶手段12cから読出し、その出稿実績に含まれる広告実績値に基づき、予測実績値を算出する広告評価処理手段11bと、予測実績値を表示する表示手段13から構成される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ある WEB サイトを他の WEB サイトと識別する WEB サイト識別情報と、WEB サイトが提供する情報のカテゴリと、この WEB サイトに含まれる WEB ページ毎の広告条件とを関連づけて格納する広告掲載媒体情報記憶手段と、

実際に過去に掲載された広告の情報を示す実績広告情報と、実際に過去に広告を掲載した WEB ページを示す実績 WEB ページ情報と、実際に過去に掲載された広告の実績を示す広告実績値とを関連づけて出稿実績として格納する出稿実績記憶手段と、

前記広告掲載媒体情報記憶手段に格納された広告条件を読み出して出力し、広告掲載希望者に、掲載を希望する広告条件の選択を促す手段と、

前記選択された広告条件に合致した実績広告情報に対応付けられた出稿実績と前記出稿実績記憶手段から読み出し、該読み出された出稿実績に含まれる広告実績値に基づき、予測実績値を算出する予測実績算出手段と、前記予測実績値を出力する出力手段とを具備してなることを特徴とする広告評価システム。

【請求項 2】 前記予測実績算出手段は、読み出された出稿実績が複数である場合には、複数の出稿実績に含まれる広告実績値の平均値を算出し、この平均値を予測実績値とすることを特徴とする請求項 1 に記載の広告評価システム。

【請求項 3】 前記広告実績値は、前記広告が掲載された WEB ページの表示回数、前記広告へのアクセス回数、前記広告が掲載された WEB ページの表示回数に対する前記広告へのアクセス回数の比率、前記広告が掲載された WEB ページの表示回数に対するコスト、前記広告へのアクセス回数に対するコストの少なくとも一つからなることを特徴とする請求項 1 に記載の広告評価システム。

【請求項 4】 ある WEB サイトを他の WEB サイトと識別する WEB サイト識別情報と、WEB サイトが提供する情報のカテゴリと、この WEB サイトに含まれる WEB ページ毎の広告条件とを関連づけて格納する広告掲載媒体情報記憶手段に格納された広告条件を読み出して出力し、広告掲載希望者に、掲載を希望する広告条件の選択を促すステップと、

実際に過去に掲載された広告の情報を示す実績広告情報と、実際に過去に広告を掲載した WEB ページを示す実績 WEB ページ情報と、実際に過去に掲載された広告の実績を示す広告実績値とを関連づけて出稿実績として格納する出稿実績記憶手段から、前記選択された広告条件に合致した実績広告情報に対応付けられた出稿実績を読み出し、該読み出された出稿実績に含まれる広告実績値に基づき、予測実績値を算出するステップと、

前記予測実績値を出力するステップとを有することを特徴とする広告評価方法。

【請求項 5】 コンピュータに、ある WEB サイトを他の WEB サイトと識別する WEB サイト識別情報と、WEB サイトが提供する情報のカテゴリと、この WEB ページに含まれる WEB ページ毎の広告条件とを関連づけて格納する広告掲載媒体情報記憶手段に格納された広告条件を読み出して出力し、広告掲載希望者に、掲載を希望する広告条件の選択を促す手段、

実際に過去に掲載された広告の情報を示す実績広告情報と、実際に過去に広告を掲載した WEB ページを示す実績 WEB ページ情報と、実際に過去に掲載された広告の実績を示す広告実績値とを関連づけて出稿実績として格納する出稿実績記憶手段から、前記選択された広告条件に合致した実績広告情報に対応付けられた出稿実績を読み出し、該読み出された出稿実績に含まれる広告実績値に基づき、予測実績値を算出する手段、

前記予測実績値を出力する手段として機能させるための広告評価プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、WEB サイトに掲載する広告の予測実績を評価する広告評価システム、広告評価方法及び広告評価プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットの爆発的な普及により、WEB サイト上にバナー広告等を掲載する広告の提供方法が実現されている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記手法による広告の提供の場合、広告により得られる実績はバナー広告を掲載する WEB サイトの属性等により相違するものが現状である。このような実績の相違は、広告を掲載する側にとっては予測し難く、希望する実績が得られない場合も多い。

【0004】本発明は上記課題を解決するためになされたもので、その目的とするところは、広告の予測実績を評価することのできる広告評価システム、広告評価方法及び広告評価プログラムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】この発明の一の観点によれば、ある WEB サイトを他の WEB サイトと識別する WEB サイト識別情報と、WEB サイトが提供する情報のカテゴリと、この WEB ページに含まれる WEB ページ毎の広告条件とを関連づけて格納する広告掲載媒体情報記憶手段と、実際に過去に掲載された広告の情報を示す実績広告情報と、実際に過去に広告を掲載した WEB ページを示す実績 WEB ページ情報と、実際に過去に掲載された広告の実績を示す広告実績値とを関連づけて出稿実績として格納する出稿実績記憶手段と、前記出稿掲載媒体情報記憶手段に格納された広告条件を読み出し

て出力し、広告掲載希望者に、掲載を希望する広告条件の選択を促す手段と、前記選択された広告条件に合致した実績広告情報に対応付けられた出稿実績を前記出稿実績記憶手段から読出し、該読み出された出稿実績に含まれる広告実績値に基づき、予測実績値を算出する予測実績算出手段と、前記予測実績値を出力する出力手段とを具備してなることを特徴とする広告評価システムが提供される。

【0006】このような構成によれば、広告実績に基づいて広告予測結果を算出することができるため、精度の高い予測結果が得られる。

【0007】本発明の一の実施形態によれば、予測実績算出手段は、読み出された出稿実績が複数である場合には、複数の出稿実績に含まれる広告実績値の平均値を算出し、この平均値を予測実績値とする。これにより、複数の出稿実績に基づいた精緻な予測結果が得られる。

【0008】また、本発明の他の一の実施形態によれば、広告実績値は、前記広告が掲載されたWEBページの表示回数、前記広告へのアクセス回数、前記広告が掲載されたWEBページの表示回数に対する広告へのアクセス回数の比率、前記広告が掲載されたWEBページの表示回数に対するコスト、前記広告へのアクセス回数に対するコストの少なくとも一つからなる。これにより、WEBページが表示される予測回数や広告へのアクセス回数など、具体的な数値として広告実績を予測することが可能となる。

【0009】また、装置または方法に係る本発明は、コンピュータに当該発明に相当する手順を実行させるための（あるいはコンピュータを当該発明に相当する手段として機能させるための、あるいはコンピュータに当該発明に相当する機能を実現させるための）プログラム、該プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体としても成立する。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照しながら本発明の一実施形態を説明する。

【0011】図1は本発明の一実施形態に係る広告評価システム1の全体構成を示す図である。

【0012】図1に示すように、この広告評価システム1は、プロセッサ11と、本実施形態の広告評価処理を行う各種プログラムを格納するプログラム記憶手段12aと、広告掲載媒体に関する情報を格納する媒体情報記憶手段12bと、広告の出稿実績に関する情報を格納する出稿実績情報記憶手段12cと、表示手段13と、入力手段14から構成される。プログラム記憶手段12a、媒体情報記憶手段12b、出稿実績情報記憶手段12c、表示手段13及び入力手段14はプロセッサ11に接続されている。出稿実績とは、実際に過去にWEBサイト中のWEBページに例えばバナー広告などの広告を掲載したその実績をいう。なお、広告の掲載とは、端

末などの利用者が、その端末の表示手段の表示画面に表示されるWEBページ中に広告が視認可能に表示されることをいう。

【0013】プロセッサ11は例えばCPUにより構成される。このプロセッサ11は、プログラム記憶手段12aから各種プログラムを読み出して実行することにより、広告掲載媒体処理手段11a、出稿評価情報作成手段11b、広告評価処理手段11cとして機能する。

【0014】媒体情報記憶手段12bに格納される広告掲載媒体情報は、図2に示すサイトテーブルと、図3に示す広告条件テーブルにより構成される。

【0015】図2に示すように、サイトテーブルは、各WEBサイトを特定するためのデータとして、サイト識別情報、サイト情報、サイト特性、サイトカテゴリ、広告条件IDを有し、これらサイト識別情報、サイト情報、サイト特性、サイトカテゴリ、広告条件IDが一つのWEBサイトに対応付けられる。

【0016】サイト識別情報は、広告を掲載する媒体としてのWEBサイトのサイト名、そのWEBサイトのリソースを識別するためURLアドレスで示されたドメイン名からなる。サイト情報は、当該WEBサイトに関する各種情報である。サイト特性は、当該WEBサイトへアクセスするユーザの男女比など、ユーザの職種、ユーザの年齢などを特定する情報である。サイトカテゴリは、例えば女性専用、旅行、趣味、エンターテインメント、スポーツなどのWEBサイトに表示される情報のジャンルなどのカテゴリを特定するための情報である。広告条件IDは、当該WEBサイトへの広告を掲載する条件を特定するための広告条件を識別するための情報であり、WEBサイトに含まれる各WEBページに対応付けられた情報である。従って、WEBサイトに複数のWEBページから構成される場合には、広告条件IDが一つのWEBサイト名に対応付けて複数設けられてもよいし、単一でもよい。なお、サイト毎にレコードを設けずに、WEBページ毎、すなわち広告条件ID毎にレコードを設けてもよい。

【0017】図3に示すように、広告条件テーブルでは、広告条件識別情報、広告条件をインデックスとして有し、各レコードはWEBページ別に設けられる。広告条件識別情報は、さらに広告条件ID、広告条件名という2つのサブインデックスからなる。また、広告条件は、広告掲載期間、広告単価、広告形態、広告サイズ、広告容量、広告ループ、広告カテゴリという広告条件を詳細に設定するための7つのサブインデックスからなる。広告条件名は、広告条件IDが対応付けられた広告を掲載する広告の条件の名称、広告掲載期間は、広告をWEBページに掲載する期間である。

【0018】出稿実績情報記憶手段12cに格納される出稿実績情報の一例を図4に示す。図4に示すように、各出稿実績情報は、出稿実績ID、実績サイト情報、実

績広告情報、広告実績値により特定される。出稿実績IDは、他の出稿実績と識別するための情報である。実績サイト情報は、広告実績で広告が掲載される媒体を特定するための情報であり、詳細には掲載サイト名、サイトカテゴリにより特定される。また、実績サイト情報には、WEBサイトのみならず、そのWEBサイト中の実際に広告が掲載されたWEBページを識別する情報を含む。実績広告情報は、広告実績で掲載された広告を特定するための情報であり、詳細には広告カテゴリ、広告主名、広告主業種、クリエイティブタイプにより特定される。広告実績値は、広告が掲載された際の広告の実績を特定するための情報であり、詳細にはサイト閲覧数、クリック数、クリック率、1閲覧当たりコスト、1クリック当たりコストにより特定される。

【0019】サイト閲覧数は、広告が掲載された媒体であるWEBページが閲覧された回数、クリック数は、そのWEBページに掲載された広告がクリックされた回数、クリック率は、WEBページが閲覧された回数に対するクリック数の比率である。1閲覧当たりコストとは、あるWEBページに広告を掲載する場合のコストをそのWEBページの閲覧数で割ったコストであり、1回の閲覧当たりコストがいくらかかったかを把握することができる。また、1クリック当たりコストとは、あるWEBページに広告を掲載する場合のコストを広告に対するアクセス回数で割ったコストであり、1回の広告へのアクセスに対してコストがいくらかかったかを把握することができる。

【0020】次に、図5に示すフローチャートを用いて本実施形態に係る広告評価方法を説明する。

【0021】図5に示すように、まず広告掲載希望者は、媒体名、すなわち広告の掲載を希望するWEBサイト名や、そのWEBサイトのドメイン名などのサイト識別情報を入力し、希望するWEBサイトの検索要求を行う(1)。このWEBサイト検索画面の一例を図6に示す。

【0022】このWEBサイト名やドメイン名などの入力に応じて、広告掲載媒体処理手段11aは、入力されたWEBサイト、ドメイン名が関連づけられた広告掲載媒体情報を抽出する(2)。具体的には、図2に示すサイトテーブルから条件に合致するレコードが抽出される。そして、抽出された広告掲載媒体情報に含まれる広告条件IDをキーとして、広告メニューを図3に示す広告条件テーブルから抽出する(3)。具体的には、図3に示す広告条件テーブルから条件に合致するレコードが抽出される。そして、抽出された広告条件を表示手段13に表示させる(4)。図7は表示手段13に表示された広告条件一覧画面の一例を示す図である。広告掲載希望者は、この広告条件一覧画面により、広告掲載を希望するWEBサイトに関する広告条件を確認し、例えば図6に示すチェック欄に入力手段14を用いてフラ

グを立てることに希望する広告条件を選択する(5)。

【0023】出稿評価情報作成手段11bは、広告条件の選択に応じて、出稿情報入力画面を表示手段13に表示させ(6)、広告掲載希望者に出版情報を入力を促す。出版情報入力画面の一例を図8に示す。図8に示すように、広告掲載希望者により選択された広告条件に基づき、その広告条件に合致するサイト情報やサイト特性などを図2から読み出して特記事項として表示するのが望ましい。広告掲載希望者は、図8に示す画面に従い、広告掲載期間、広告掲載料金を入力手段14を用いて入力する(7)。

【0024】出稿評価情報作成手段11bは、これら出版情報の入力に応じて、出稿評価条件入力画面を表示手段13に表示させ(8)、出稿評価条件の入力を促す。出稿評価条件入力画面の一例を図9に示す。広告掲載希望者は、図9に示す画面に従い、出稿評価条件として広告主業種、クリエイティブタイプを入力手段14を用いて選択する(9)。なお、この出稿評価条件は、広告掲載希望者により必ずしも選択される必要はなく、選択されなくてもよい。

【0025】広告評価処理手段11cは、これら入力された出版情報、出稿評価条件及び選択された広告メニューに基づいて広告評価処理を行う(10)。広告評価処理は、まず出版情報、出稿評価条件及び広告条件に基づいて、これに関連する出稿実績情報を抽出する。

【0026】抽出手法は、例えば広告掲載希望者により選択された広告条件に含まれる広告カテゴリと一致する広告カテゴリを有し、かつ選択されたWEBサイトのサイトカテゴリと一致するサイトカテゴリを有する出稿実績情報を複数抽出する。出稿評価条件が選択されている場合には、さらに抽出された出稿実績情報から、選択された出稿評価条件と一致する広告主業種、クリエイティブタイプが関連づけられた出稿実績情報を抽出する。

【0027】このようにして複数抽出された出稿実績情報から、各出稿実績情報について、抽出された出稿実績情報に含まれるサイト閲覧数、クリック数、クリック率、1閲覧当たりコスト、1クリック当たりコストを、広告掲載希望者により入力された広告掲載期間に適合するように換算する。具体的には、例えば広告掲載期間が30日で、実際の出稿実績としての広告期間が10日だった場合には、その広告実績におけるサイト閲覧数、クリック数を3倍とし、得られたサイト閲覧数及びクリック数を暫定予想サイト閲覧数及び暫定予想クリック数とする。また、出稿実績情報に含まれるクリック率、1閲覧当たりコスト、1クリック当たりコストを暫定予想クリック率、暫定予想1閲覧当たりコスト、暫定予想1クリック当たりコストとする。そして、各出稿実績情報毎に得られた暫定予想サイト閲覧数、暫定予想クリック

数、暫定予想クリック率、暫定予想1閲覧当たりコスト、暫定予想1クリック当たりコストの平均値を算出する。得られた平均値が予想サイト閲覧数、予想クリック数、予想クリック率、予想1閲覧当たりコスト、予想1クリック当たりコストとなる。

【0028】広告評価処理手段11cは、得られた予想サイト閲覧数、予想クリック数、予想クリック率、予想1閲覧当たりコスト、予想1クリック当たりコストをパフォーマンス予測結果出力画面として表示手段13に表示する(図11)。図10はパフォーマンス予測結果出力画面の一例を示す図である。なお、予想1閲覧当たりコストは1閲覧当たりのコストではなく、例えば複数回の閲覧当たりのコストとして算出し、予測結果としてもよい。また、予想1クリック当たりコストは1クリック当たりのコストではなく、例えば複数回のクリック当たりのコストとして算出し、予測結果としてもよい。

【0029】このように本実施形態によれば、従来不可能だった広告実績に基づいた予測実績を導出することができる。また、広告実績に基づき出稿される広告の効果を予測するため、極めて精緻な予測結果が得られる。また、広告条件は、実際に広告に掲載されるWEBページ毎に定められるため、WEBサイト中のWEBページ毎の広告の効果のばらつきを考慮した評価が可能となる。また、広告主の業種などの所定の評価条件に従って、実績データを抽出するため、広告主の業種やクリエイティブタイプなどの広告の属性に基づいた評価が可能となる。

【0030】本発明は上記実施形態に限定されるものではない。上記実施形態では、広告評価システム1の入力手段14により必要データを入力し、その入力データに基づきプロセッサ11が処理を行い処理結果などを表示手段13に表示させる形態を示したが、プロセッサ11を有するサーバと、ネットワークにより接続された端末との間でデータの送受信を行う形態にも本発明を適用することができる。この場合、端末で入力された必要データがネットワークを介してプロセッサ11を有するサーバに送信され、プロセッサ11で処理を行い処理結果などを端末に送信し、端末に伝えられた表示手段で表示する。これにより、端末の利用者が出稿情報、出稿評価条件、広告メニューなどの必要データを入力することで、その利用者は広告評価結果を得ることができる。

【0031】また、プログラム記憶手段12aに本発明*

*の機能を実行するためのプログラムを格納し、当該プログラムを読み出すことにより本発明の機能を実行させる場合を示したが、例えばこれらプログラムを記録したコンピュータ読取可能な記録媒体をプロセッサ11に接続された図示しない記録媒体読取装置から読み取り、プロセッサ11に当該機能を実行させてもよい。

【0032】

【発明の効果】以上詳述したように本発明によれば、広告の予測実績の評価が行える広告評価システム、広告評価方法及び広告評価プログラムが提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る広告評価システムの全体構成を示す図。

【図2】同実施形態に係る広告掲載媒体情報の一例を示す図。

【図3】同実施形態に係る広告メニューテーブルの一例を示す図。

【図4】同実施形態に係る出稿実績情報の一例を示す図。

【図5】同実施形態に係る広告評価方法のフローチャートを示す図。

【図6】同実施形態に係るWEBサイト検索画面の一例を示す図。

【図7】同実施形態に係る広告メニュー画面の一例を示す図。

【図8】同実施形態に係る出稿情報入力画面の一例を示す図。

【図9】同実施形態に係る出稿評価条件入力画面の一例を示す図。

【図10】同実施形態に係るパフォーマンス予測結果の出力画面の一例を示す図。

【符号の説明】

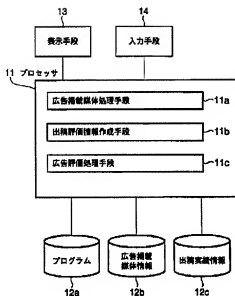
- 1…広告評価システム
- 11…プロセッサ
- 11a…広告掲載媒体処理手段
- 11b…出稿評価情報作成手段
- 11c…広告評価処理手段
- 12a…プログラム記憶手段
- 12b…媒体情報記憶手段
- 12c…出稿実績情報記憶手段
- 13…表示手段
- 14…入力手段

【図2】

サイト集約情報

サイト名	ドメイン名	サイト情報	サイト特性	サイトカテゴリ	広告案件ID
サイトa	seo@cd.com	このサイトは	男性60%	ネットワーク	123
サイトb	wg@cd.com	若者に人気の	社会人30%	旅行	124

【図1】



【図6】

【図3】

広告条件・制約情報			広告条件				
広告条件ID	広告条件名	広告掲載期間	広告単価	広告形態	広告P/A	広告容量	広告グループ
120	トップページ	10日	200万円	貼り付け	33x224	648未満	無制限
124	ジェネラル	1ヶ月	10万円	ローテーション	28x70	256未満	アニメ不可

【図7】

メディア	キーワード	広告単価	広告形態	広告サイズ	容量	グループ	P/A
□	トップページ	2,000,000	-	貼り付け	33x224	648未満	無制限
□	ジェネラル	100,000	-	ローテーション	28x70	256未満	アニメ不可

【図5】



【図8】

メニューのプロパティ

LOGOFF [メインメニュー] [固有メニュー] [次のメニュー] [キャンペーン登録へ戻る]

属性名: サイト
メニュー: トップページ

表示種:
 開始From: 2500 / 10 / 10
 終了To: 2500 / 10 / 10
 正値料金: 2000000円
 当座料金: 2000000円
 保証Imp: 5Imp
 保証Click: 10C

備考事項: 掲載時に注目されるものにもっとも効果的であるサイトのコンテンツページ
 サイトの「属」の最も高い位置に置かれます。サイトとステータス値を
 共有できるbranding情報。画面中サイトの右側のユーザーにリークされる
 impression数も、週に3,000,000以上のPVがあります。

【図9】

キャンペーン評価条件設定

LOGOFF [メインメニュー] [キャンペーン登録へ戻る]

対象キャンペーン: 10月 キャンペーン
 広告主情報と考慮する

<input type="checkbox"/> ソフトウェア・ASP事業	<input type="checkbox"/> 通信・プロバイダ	<input type="checkbox"/> コンピュータ機器
<input type="checkbox"/> 電機・情報機器	<input type="checkbox"/> 放送局	<input type="checkbox"/> エネルギー
<input type="checkbox"/> 化粧品・美容品の売り場	<input type="checkbox"/> 小売・百貨・書店	<input type="checkbox"/> 旅行・観光
<input type="checkbox"/> 食品・飲料・嗜好品	<input type="checkbox"/> 不動産・賃貸	<input type="checkbox"/> 金融・保険・証券
<input type="checkbox"/> 医療・エステ・美容整形	<input type="checkbox"/> 教育・人材サービス	<input type="checkbox"/> 公共機関・各種団体
<input type="checkbox"/> その他		

クリエイティブタイプを考慮する

<input type="checkbox"/> プレゼンター型	<input type="checkbox"/> タレント型	<input type="checkbox"/> DM型
----------------------------------	--------------------------------	------------------------------

パフォーマンス予測結果表示

【図10】

パフォーマンス予測結果													
[LOGOFF][メニュー]													
代理店:													
広告主:													
番 号:													
期 間:													
10月キャンペーン													
合計													
Web													
サイト	媒体名	メニュー名	開始日	終了日	正解明金	客単明金	集客率	集客CVR	予測H4 集客数	手前 集客数	予測H4 CVR	手前 CVR	予測 CPC
11	11	11	10/10	10/10	2,000,000	2,000,000	-	-	4,291,696	12,879	0.36%	466	180
12	12	12	10/01	10/31	400,000	300,000	100,000	-	117,610	820	0.43%	2,581	567
Web合計					2,400,000	2,300,000	100,000	-	4,409,306	13,404	0.36%	822	-

フロントページの続き

(72)発明者 山崎 修司

東京都渋谷区東3丁目16番3号 エフ・ニ
ッセイ恵比寿ビル6階 デジタル・アドバ
タイジング・コンソーシアム株式会社内